

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月6日

上場会社名 ダイセル化学工業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4202 URL <http://www.daicel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小川 大介

問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー

(氏名) 畑 理史

TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	63,578	△37.2	1,184	△85.3	1,275	△84.8	613	△87.1
21年3月期第1四半期	101,217	—	8,032	—	8,386	—	4,753	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1.72	—
21年3月期第1四半期	13.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	440,104	218,037	44.4	549.02
21年3月期	445,911	211,487	42.3	530.43

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 195,420百万円 21年3月期 188,807百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		4.00	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	142,000	△32.1	2,500	△85.2	2,000	△88.0	1,200	△86.5	3.37
通期	305,000	△19.3	11,000	3.9	9,000	9.6	4,500	247.2	12.64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 364,942,682株 21年3月期 364,942,682株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 9,000,075株 21年3月期 8,987,467株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 355,949,084株 21年3月期第1四半期 359,435,699株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

なお、予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の5ページを参照してください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間のわが国経済は、景気が底を打ったとも言われておりますが、依然として需要に力強さは無く、為替が円高・ドル安基調で推移するなど、予断を許さない状況のうちに推移いたしました。

このような環境の中、当第1四半期連結会計期間の当社グループの売上高は、前年同期に比し販売数量が大きく減少したことにより、635億78百万円（前年同期比37.2%減）となりました。固定費削減などのコストダウンに取り組みましたものの、販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下が影響して、利益面では、営業利益11億84百万円（前年同期比85.3%減）、経常利益12億75百万円（前年同期比84.8%減）、四半期純利益6億13百万円（前年同期比87.1%減）となりました。

事業部門別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途の需要が回復傾向で推移いたしましたが、前年同期の水準には至りませんでした。しかしながら、一部用途における販売価格是正などが寄与して、売上高は増加いたしました。

たばこフィルター用トウは、平成21年1月に販売価格是正を実施し、たばこ需要は海外を中心に堅調に推移いたしましたが、当社姫路製造所網干工場の2年に1度の定期修繕を当第1四半期中に実施したことによる生産量の減少や円高の影響により、売上高は減少いたしました。

WSP（水溶性高分子）は、医薬・化粧品用途向けなどの販売が堅調に推移したことに加え、高付加価値品の増販や販売価格是正が寄与して、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、182億52百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は、原燃料価格の低下や減価償却費負担の減少などにより、29億23百万円（前年同期比59.0%増）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、景気低迷による全般的な需要の減少と販売価格の低下により、売上高は大幅に減少いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、液晶など一部用途向けの需要は回復傾向にありますが、全般的には景気低迷の影響で需要が減少し、販売価格も低下したことにより、売上高は減少いたしました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物、半導体レジスト材料などの機能品は、一部用途やアジア向けの需要は回復しつつありますが、欧米向けを中心に需要の低迷が続いており、売上高は減少いたしました。

光学異性体分離カラム、医薬中間体などのキラルケミカル（光学活性体）事業は、中国、インド向けのカラム販売は好調に推移いたしましたが、一部製品の需要減や円高の影響により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、155億79百万円（前年同期比41.7%減）、営業利益は、販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下などにより、6億85百万円（前年同期比82.0%減）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂などのエンジニアリングプラスチックは、12月決算会社である連結子会社ポリプラスチック株式会社を中心とした企業群が事業を行っております。当第1四半期にあたる平成21年1～3月においては、世界的な景気低迷による自動車やOA機器、家電製品などの生産調整の影響を大きく受け、売上高は大幅に減少いたしました。

AS・ABS樹脂、エンプラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業も、景気低迷の影響を受け、売上高は減少いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、景気低迷の影響に加え、三国プラスチック株式会社を前第3四半期連結会計期間より当社の連結会社から除外したことも影響し、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、193億3百万円（前年同期比50.6%減）、利益面では、販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下も大きく影響し、営業損失6億60百万円（前年同期は営業利益25億11百万円）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）は、景気低迷による自動車の生産調整の影響を大きく受けました。特に海外における連結子会社群は平成21年1～3月が当第1四半期にあたるため、その影響はとりわけ大きく、売上高は大幅に減少いたしました。また、シートベルト・ブリテンショナー用ガス発生器（PGG）も、景気低迷の影響で、売上高は減少いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品の販売増などにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、93億68百万円（前年同期比42.7%減）、営業利益は、販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下が大きく影響して、29百万円（前年同期比98.3%減）となりました。

[その他事業部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、排水処理など一般産業分野向け製品の販売は堅調に推移いたしました。医療用分野向け製品の販売が減少し、売上高は減少いたしました。

その他新規機能性材料などは、景気低迷により需要が減少し、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、10億74百万円（前年同期比24.7%減）、利益面では、営業損失10百万円（前年同期は営業利益1億16百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、投資有価証券の時価評価額は増加いたしました。受取手形及び売掛金、たな卸資産の減少などにより、前連結会計年度末に比し58億7百万円減少し、4,401億4百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比し123億58百万円減少し、2,220億66百万円となりました。

また、純資産は、2,180億37百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、1,954億20百万円となり、自己資本比率は44.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は95億30百万円（前年同期比23.6%減）となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前四半期純利益10億38百万円、減価償却費88億58百万円、売上債権の減少82億25百万円、たな卸資産の減少20億48百万円であり、資金減少の主な内容は、仕入債務の減少92億62百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は53億51百万円（前年同期比43.8%減）となりました。資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出55億60百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は63億92百万円（前年同期は36百万円の増加）となりました。資金増加の主な内容は、長期借入による収入54億77百万円であり、資金減少の主な内容は、短期借入金の減少による支出40億94百万円、長期借入金の返済による支出58億40百万円であります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は291億14百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の当社グループの業績は、売上高はほぼ想定どおりの水準で推移いたしました。固定費の削減を始めとするコストダウンへの取り組みが奏功し、利益面では想定を上回る水準で推移いたしました。

上記を踏まえ、第2四半期連結累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、第3四半期以降の事業環境が極めて不透明であることから、平成21年5月13日公表の通期の連結業績予想は修正しておりません。

平成22年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	141,000	△1,000	△2,000	△2,500	△7円02銭
今回修正予想 (B)	142,000	2,500	2,000	1,200	3円37銭
増減額 (B - A)	1,000	3,500	4,000	3,700	—
増減率 (%)	0.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	209,201	16,939	16,736	8,877	24円70銭

※上記業績予想数値は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末における棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算出する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,129	30,522
受取手形及び売掛金	52,156	59,733
有価証券	25	25
たな卸資産	74,691	75,984
その他	16,894	19,420
貸倒引当金	△164	△141
流動資産合計	172,732	185,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	52,717	52,512
機械装置及び運搬具（純額）	96,959	102,269
土地	26,530	26,486
建設仮勘定	16,080	11,706
その他（純額）	3,268	3,364
有形固定資産合計	195,556	196,340
無形固定資産	4,372	3,899
投資その他の資産		
投資有価証券	51,626	43,211
その他	16,063	17,154
貸倒引当金	△246	△240
投資その他の資産合計	67,442	60,125
固定資産合計	267,371	260,365
資産合計	440,104	445,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,609	33,471
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
短期借入金	53,243	56,683
1年内返済予定の長期借入金	27,265	26,450
未払法人税等	606	1,199
修繕引当金	779	2,705
その他	20,099	20,647
流動負債合計	136,604	151,157
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	58,968	59,468
退職給付引当金	8,374	8,705
役員退職慰労引当金	68	116
修繕引当金	—	46
その他	8,052	4,928
固定負債合計	85,462	83,266
負債合計	222,066	234,424

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,576	31,576
利益剰余金	121,537	122,347
自己株式	△4,083	△4,077
株主資本合計	185,306	186,122
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,732	9,150
繰延ヘッジ損益	△224	△193
為替換算調整勘定	△4,393	△6,270
評価・換算差額等合計	10,114	2,685
少数株主持分	22,617	22,679
純資産合計	218,037	211,487
負債純資産合計	440,104	445,911

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	101,217	63,578
売上原価	79,328	51,191
売上総利益	21,889	12,386
販売費及び一般管理費	13,856	11,202
営業利益	8,032	1,184
営業外収益		
受取利息	113	45
受取配当金	527	379
持分法による投資利益	—	205
為替差益	599	149
その他	210	245
営業外収益合計	1,450	1,025
営業外費用		
支払利息	716	625
持分法による投資損失	50	—
その他	330	308
営業外費用合計	1,097	933
経常利益	8,386	1,275
特別利益		
固定資産処分益	14	1
投資有価証券売却益	0	1
補助金収入	233	—
特別利益合計	248	3
特別損失		
固定資産除却損	85	240
減損損失	79	—
固定資産圧縮損	220	—
特別損失合計	385	240
税金等調整前四半期純利益	8,248	1,038
法人税、住民税及び事業税	1,840	350
法人税等調整額	815	434
法人税等合計	2,655	784
少数株主利益又は少数株主損失(△)	840	△359
四半期純利益	4,753	613

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,248	1,038
減価償却費	7,573	8,858
減損損失	79	—
受取利息及び受取配当金	△641	△424
支払利息	716	625
持分法による投資損益 (△は益)	50	△205
固定資産除売却損益 (△は益)	70	238
固定資産圧縮損	220	—
補助金収入	△233	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,180	8,225
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,594	2,048
仕入債務の増減額 (△は減少)	△560	△9,262
その他	1,205	△618
小計	16,316	10,524
利息及び配当金の受取額	890	497
利息の支払額	△668	△520
法人税等の支払額	△4,066	△971
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,471	9,530
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,927	△5,560
有形固定資産の売却による収入	25	2
無形固定資産の取得による支出	△50	△165
投資有価証券の取得による支出	△46	△4
貸付けによる支出	△857	△22
貸付金の回収による収入	157	281
収用に係る補償金入金による収入	1,400	—
補助金収入	233	—
その他	△457	118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,524	△5,351
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,042	△4,094
長期借入れによる収入	842	5,477
長期借入金の返済による支出	△5,947	△5,840
自己株式の取得による支出	△7	△5
自己株式の売却による収入	1	0
配当金の支払額	△1,437	△1,423
少数株主への配当金の支払額	△457	△506
財務活動によるキャッシュ・フロー	36	△6,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,660	820
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,323	△1,393
現金及び現金同等物の期首残高	20,740	30,507
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△32	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,031	29,114

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	セルローズ事業 (百万円)	有機合成事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	火工品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	17,685	26,718	39,048	16,337	1,427	101,217	—	101,217
(2)セグメント間の内部売上高	676	5,270	1	—	2,963	8,912	(8,912)	—
計	18,361	31,989	39,050	16,337	4,391	110,130	(8,912)	101,217
営業利益	1,838	3,812	2,511	1,701	116	9,979	(1,946)	8,032

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	セルローズ事業 (百万円)	有機合成事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	火工品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	18,252	15,579	19,303	9,368	1,074	63,578	—	63,578
(2)セグメント間の内部売上高	389	1,536	0	—	2,119	4,046	(4,046)	—
計	18,641	17,116	19,303	9,368	3,194	67,624	(4,046)	63,578
営業利益又は 営業損失(△)	2,923	685	△660	29	△10	2,968	(1,783)	1,184

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	75,166	17,394	8,657	101,217	—	101,217
(2) セグメント間の内部売上高	10,974	3,432	527	14,934	(14,934)	—
計	86,140	20,826	9,184	116,152	(14,934)	101,217
営業利益	7,487	2,371	120	9,979	(1,946)	8,032

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	51,201	8,336	4,039	63,578	—	63,578
(2) セグメント間の内部売上高	4,583	1,486	239	6,309	(6,309)	—
計	55,785	9,823	4,278	69,887	(6,309)	63,578
営業利益又は営業損失（△）	3,420	△325	△126	2,968	(1,783)	1,184

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	24,636	13,776	38,412
II 連結売上高（百万円）	—	—	101,217
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	24.3	13.7	38.0

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	12,669	8,131	20,801
II 連結売上高（百万円）	—	—	63,578
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	19.9	12.8	32.7

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。